

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成27年10月15日 NO.37

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

平成26年度決算

合併10周年事業など総額で
146億5千万円の歳出決算

9月定例会は、7日から
18日まで開かれました。
平成26年度の決算数値
は、表のとおりです。

歳出総額は、146億5
014万円で昨年度の決
算と比べて、1709万円
（▲10.4%）の減とな
りました。これは、平成25年統合
神石高原中学校建設度事
業の完了や前年度に比べ
て災害復旧工事が少なか
つた事が要因です。

実質公債費比率など財
政指數はかなり改善され
ています。地方債（借金）
の現在高は131億50
0億円）となりました。辺地
債・過疎債・合併特例債な
ど、今後の財政運営も予
断を許さない状況に変わ
りました。

人口減による交付税の
減額、病院移管交付金の終
了、合併交付税措置の終了
など、今後の財政運営も予
断を許さない状況に変わ
りました。

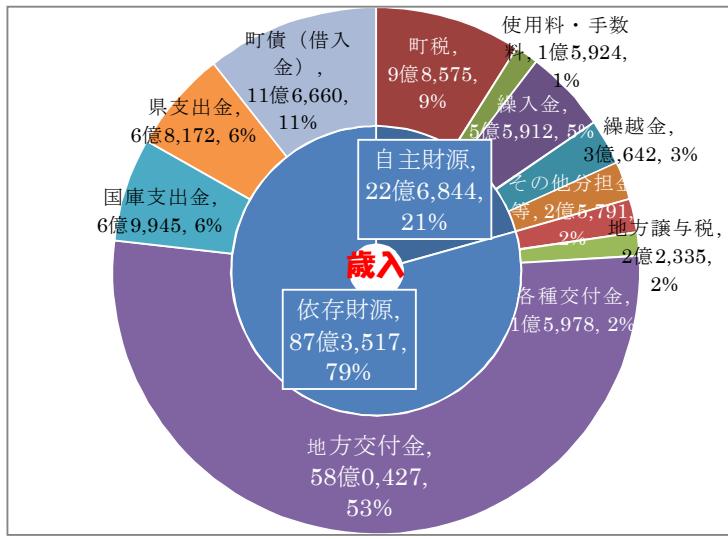
一般会計は、次ページの
表のとおりですが、前年度
対比では、**自主財源**は14.
52・7%を占める地方交
付金は2%減、統合中学校
建設にかかる国庫支出金、
病院移管交付金などの県
支出金が、それぞれ30.
6%の減となっています。

依存財源では、全体の
52・7%を占める地方交
付金は2%減、統合中学校
建設にかかる国庫支出金、
病院移管交付金などの県
支出金が、それぞれ30.
6%の減となっています。

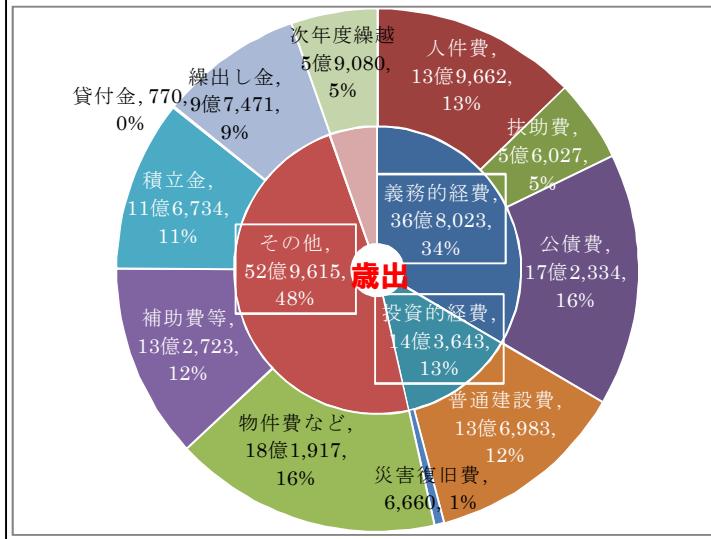
平成26年度決算統計資料		単位:万円
区分	H25年度	H26年度
財政力指數	0.221	0.219
経常収支比率	76.6%	76.7%
公債費比率	9.7%	8.2%
実質公債費比率	11.5%	10.1%
地方債現在高	135億8734	131億5078
基金残高	86億2602	95億5369

平成26年度収支決算総括表					単位:万円(四捨五入)
会計名	歳入		歳出		差引
	歳入	歳出	明許繰越	差引	
一般会計	110億0361	104億1281	4,811	5億4,269	
国民健康保険	12億5,445	11億4,726		10,719	
後期高齢者医療	3億8,743	3億8,588		155	
介護保険	19億2,486	18億9,354		3,132	
簡易水道事業	2億0,803	1億9,219		1,584	
飲料水供給施設事業	4,251	3,799		452	
農業集落排水事業	2億6,900	2億5,023		1,877	
総合開発事業	2,165	2,160		5	
分収育林事業	7	7			
病院事業会計	3億0,878	3億0,858		20	
合計	154億2039	146億5014	4,811	7億2214	
			総繰越額	7億7025	

平成 26 年度一般会計歳入歳出比較表



歳入 110億361万円



歳出 104億1281万円

(次年度繰越金には、繰越される事業の財源 4,811万円が含まれます)

平成27年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名	H27年度		
	9月補正額	補正後予算額	
一般会計	5億8,700	99億8,638	
国民健康保険	921	12億7,056	後期高齢者支援経費636、一般保険者還付30
後期高齢者医療	638	4億1,236	一般会計繰出559、広域連合負担金79
介護保険		19億2,842	
簡易水道事業	1,054	2億6,216	施設修繕(三和、西油木、永野北)1,054
飲料水供設事業	252	4,192	施設維持管理(野田丸、李、畠)252
農業集落排水事業		2億5,202	
分収育林事業		5	
総合開発事業		2,846	
特別会計計	2,865	41億9,595	
病院事業会計	413	3億0124	病院夜間勤務手当助成403
合計	6億1,978	144億8357	

9月補正

条例制定・一部改正

円千2億2千円、臨時対策債1億7千円、寄付金1億7千円、普通交付税1千2千円などです。

○町立病院看護師就職支援金貸与条例の制定
*H27.10.01

～H32.3.31 (5年間)

*満40歳未満の看護師

*貸与額 250万円/一人

○やすらぎ苑「告別室」
使用料

*葬儀⇒3時間/3万円

1時間/1万円

*通夜⇒3時間/5万円

1時間/5千円

○マイソバーカード手数料
*通知カード再交付 500円
*カード再発行 800円

人権擁護委員の推薦

佐伯知省氏(再任)三和
小川和子氏(新任)福永
小林伸平氏(再任)福永
松岡純夫氏(新任)油木
*任期3年間

○ご活躍をお祈り申し上げます。

平成27年9月補正(一般会計)			
(単位:万円)四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費		9,117	
総務費	1億5,563	16億1,822	文書管理新システム導入907、庁舎管理エレベータほか304、温泉資源活用(管路設置)2,600、ふるさと応援寄付金交付1億1,400、
民生費	1,315	17億9,395	臨時福祉・子育て特例給付金事業403 就労継続支援事業所活動支援事業(トイレ増築)510
衛生費	2,023	11億0,331	看護師就職支援金貸与事業(250万×6人)、 病院事業会計補助413
農林水産費	2,438	9億3,389	木質バイオマス推進協議会設置80、有機農業推進協議会活動補助(福山市学校給食材使用)360、有害鳥獣対策(捕獲班、箱・ぐくりわな補助)158、地域営農体制支援(農業機械導入補助)372、多面的機能維持活動補助262、堆肥センター設備修繕・機器更新992
商工費	493	1億8,201	雇用促進奨励育成(起業による雇用1件)300、スコラ105、商工会12
土木費	28	7億1,047	公営住宅管理経費(小吹)28
消防費	191	4億9,490	山崩れ発生予知システム修繕154
教育費	938	7億4,879	共同調理場管理(食器かご、給食コンテナ)97、民俗資料館57、神石公民館42、三和総合センター(放送設備・トイレ・ゲラウンド・ゴルフ場)375、体育施設(高蓋・三和グラウンド・シルトビアテニス・三和野球場)157、図書館空調ポンプ130
災害復旧費	5,730	5,733	現年農地・農業施設災害復旧1,321、 現年道路橋りょう災害復旧4,409
公債費		14億5,927	
諸支出金	2億9,981	7億5,307	協働のまちづくり事業基金積立1億5,000、 公共施設総合管理基金積立 1億5,000
予備費		4,000	
合計	5億8,700	99億8,638	

一般質問

協働支援センター構想

木野山協働支援センター構想は行政及び住民の課題を解決するため、「まちづくり基本条例」に基づいて提案されました。あらためて誰と誰が協働するのか。私は住民と町とが対等の立場での協働と思うが、町長は協働の主体についてどう思われるか。

まちづくりが大事だ。協働支援センターの組織団では、住民主体となっており「民」の自助・共助を効率よく發揮させる組織となりており「公助」の仕組みが不明だ。本当に協働の仕組みとなつてはいるのか。地域の二子ズや効率よく地域を活性化する仕組みとなつてはいるのか。

町長住民が主体となつてもらいたい。町は住民主体のまちづくりを財政的に支援する。

くる。「支援」ではなく、出来ないから協働で町の組織と一緒にやりましょうだ。

全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)

全国・県平均を下回っている。

木野山①本年4月実施の全国学力・学習状況調査の結果はどうだったか。また、②平成24・26年の調査において判明した課題においては、

③本年度調査結果における課題への取組結果は。

④本年度調査結果における課題との対策は。

②は、知識問題は伸びを示したが、応用力に課題があつた。自らが課題解決する授業を開催している。特に書くことに力を入れることによりかなり改善した。

③は小・中ともに、基礎

的知識活用力が不十分だった。主体的に学びを促し、知識技能の確実な定着を図り活用力を育成している。

木野山課題といつても現状の困っている課題とこれまでからやりたいという夢・希望の課題とが有る。予算も思い切って付けると、言う決断も必要と思う。

教育長①本年度の全国学力調査結果においては、小学校は全ての教科に於いて、平均正答率が全国及び県平均を上回っている。中学校は国語・理科は平均正答率が全国・県平均を上回っている。算数については

木野山協働のまちづくりにおいて「自助・共助・公助」をどう捉えるか。町長行政と住民が補完し合う事が大事だ。自助2%、共助が5%、公助が3%といったところか。

木野山人も居なくなつて対応できない地域も出て

木野山協働支援センター構想は行政及び住民の課題を解決するため、「まちづくり基本条例」に基づいて提案されました。

まちづくりが大事だ。協働支援センターの組織団では、住民主体となつており「民」の自助・共助を効率よく發揮させる組織となりており「公助」の仕組みが不明だ。本当に協働の仕組みとなつてはいるのか。地域の二子ズや効率よく地域を活性化する仕組みとなつてはいるのか。

木野山協働支援センターを立ち上げたのだから、協働のまちづくりの理念をして思いを補完して行く。最初からベストは無い。遂に改正改善する。



三和中学校 文化祭
H27.10.3
中学校生徒と三和小5・6年生

いくつかの調査の結果判明した課題は、細かく分析し深く踏み込み課題を把握し、学習環境の整備や子供の教育指導をお願いしたい。

* 各市県平均と比べたもので、あくまで参考値です。

全国学力・学習状況調査(平成27年度)									
小学校	国語		算数		理科				小学校
	A	B	A	B	①	②	③	④	
① 秋田県	76.0	① 秋田県	76.4	神石高原町	81.9	神石高原町	51.8	神石高原町	69.3
神石高原町	75.3	神石高原町	74.1	① 秋田県	81.2	① 秋田県	51.5	① 富山県	67.5
② 青森県	75.1	② 石川県	73.5	② 石川県	80.3	② 石川県	50.4	② 福井県	66.8
④ 広島県	73.8	⑥ 広島県	69.7	⑥ 広島県	77.7	⑪ 広島県	46.7	⑨ 広島県	63.2
全国	70.0	全国	65.4	全国	75.2	全国	45.0	全国	60.8
中学校	国語		算数		理科				中学校
	A	B	A	B	①	②	③	④	
① 秋田県	80.8	① 秋田県	70.7	① 福井県	71.1	① 福井県	47.7	① 福井県	61.3
③ 富山・石川県	78.1	神石高原町	70.0	41 福岡県	62.2	神石高原町	39.9	⑨ 愛媛県	55.2
神石高原町	77.3	② 福井県	69.8	神石高原町	61.9	33 徳島県	39.9	神石高原町	55.1
⑤ 東京都	77.2			42 佐賀県	61.7	34 北北海道		⑩ 茨城県	54.9
⑫ 広島県	76.5	⑨ 広島県	67.0	⑫ 広島県	64.6	⑫ 広島県	42.7	30 広島県	52.2
全国	75.8	全国	65.8	全国	64.4	全国	41.6	全国	53.0